

目次

はじめに	1
I. 背景	1
II. 目的	1
III. 事業の概要	1
IV. 事業の内容	2
V. 検討会	4
1. 目的	4
2. 検討内容	4
3. 委員	4
4. 開催概要	4
第1章 交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム	7
I. 目的	9
II. 概要	9
III. 実施内容（敬称略）	11
1. 対応事例「大津市の交通事故における被害者遺族及び被害園児などに対する支援活動について」	
講師：滋賀県警察本部警務部警察県民センター犯罪被害者支援室所長補佐 新田 幸	11
2. 講演「突然の事件・事故できょうだいを亡くしたきょうだいの体験の特徴と求められる支援」	
講師：栞の会代表 赤田 ちづる	16
3. パネルディスカッション「子供の頃に交通事故で家族を亡くすということ」	
コーディネーター： 飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事 井上 郁美 （令和元年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）	
コメンテーター： 栞の会代表 赤田 ちづる	
パネリスト： 岡田 藍（平成13年（当時22歳）、妹を交通事故で失う） 被害者遺族A（男性）（平成20年（当時9歳）、父を交通事故で失う） 濱口 奈津圭（平成13年（当時7歳）、父を交通事故で失う）	
.....	22

IV. まとめと今後の方向性	36
1. まとめ	36
2. 今後の方向性	37
第2章 交通事故で家族を亡くした子供の支援に関する意見交換会	39
I. 目的	41
II. 概要	41
III. 体制	41
IV. 開催日程	41
V. プログラム	42
VI. 実施内容	43
1. 奈良県	43
(1) 出席者	43
(2) 会場	43
(3) 御遺族の話	
○安田 厚子 (平成13年、夫 (当時35歳) を交通事故で失う)	44
(4) 事例紹介「遺されたきょうだい～交通事故で家族を亡くしたきょうだいの体験の特徴～」	
講師：栞の会代表 赤田 ちづる	51
(5) 意見交換	55
(6) 意見交換のまとめ	56
2. 茨城県	57
(1) 出席者	57
(2) 会場	57
(3) 御遺族の話	
○村田 琴乃 (平成14年 (当時4歳)、父を交通事故で失う)	58
(4) 専門的立場からの講演「子供のトラウマと支援」	
講師：追手門学院大学心理学部心理学科准教授 櫻井 鼓	61
(5) 意見交換	66
(6) 意見交換のまとめ	69
VII. まとめと今後の方向性	70
1. まとめ	70
2. 今後の方向性	70
第3章 交通事故被害者支援に関する相談窓口等担当者会議	71
I. 目的	73
II. 概要	73
III. 体制及び出席者	73

IV. 開催日時及び会場	74
V. プログラム	75
VI. 実施内容	76
1. 事例紹介 交通事故事件に係る被害者支援「のと里山海道で発生した中学生等 多数が死傷した正面衝突事故について」	
講師：石川県警察本部警務部県民支援相談課被害者支援室長 柄田 由美子	
	76
2. 意見交換	78
3. 意見交換のまとめ	80
VII. まとめと今後の方向性	81
1. まとめ	81
2. 今後の方向性	81
第4章 自助グループ運営・連絡会議	83
I. 目的	85
II. 体制	85
III. 開催日時及び会場	85
IV. プログラム	86
V. 実施内容	87
1. 自助グループ活動の運営方法に関する説明	87
講師：公益社団法人被害者支援センターとちぎ事務局長、公益社団法人全国 被害者支援ネットワーク理事 和氣 みち子 （令和元年度交通事故被害者サポート事業検討会委員） 公益社団法人被害者支援センターとちぎ事務局長補佐 岡 祐理恵 公益社団法人被害者支援センターとちぎ相談員 藤井 幸子	
2. 自助グループ活動の視察	89
自助グループ：あかし	
ファシリテーター：公益社団法人被害者支援センターとちぎ事務局長、公益社 団法人全国被害者支援ネットワーク理事 和氣 みち子 （令和元年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）	
3. 意見交換	92
VI. まとめと今後の方向性	97
1. まとめ	97
2. 今後の方向性	98

※各章における講演や体験談等における記述については、被害者の方の率直な思いを尊重してまとめたものです。また、掲載することにつき御本人の同意を得ております。

